



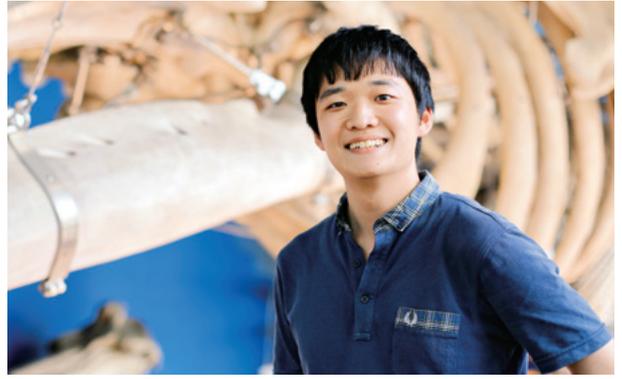
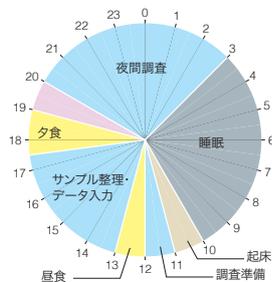
小林 未宇さん
大学院 海洋資源環境学専攻
2016（平成28）年度 海洋環境学科卒業

教室だけではない学び

海は私にとって子どものころから身近な存在でした。海について生物・環境・技術など多面的に幅広く学びたいと考えたことが、海洋大の海洋環境学科に進学した理由です。

海洋大での学びは、キャンパスでの授業のみにとどまりません。乗船しての実習等、多くの専門的な実習があり、実習船や実習場といった施設も充実しています。なかでも実習場に滞在し、3日間かけて潮間帯に生息する生物を採集・観察する実習では直接フィールドに出て学ぶことが研究においていかに大切か、そしてその面白さを知ることができました。

現在は小笠原海域に生息するアオウミガメの付着物に関する研究をしています。研究室に所属した今でもフィールドに出ることを私の中でとても大切にしており、毎年小笠原での調査を行っています。海洋大では先生方も学生も、積極的に海へ出かけます。研究の現場がすぐ身近にある大学です。



熊谷 卓也さん
海洋環境学科4年
東京都立北園高等学校卒業

知りたいコト、知らないコト。

子どもの頃から生物のことが好きだった私は、海洋生物について学びたいと思いこの大学に入学しました。専門科目では、座学だけではなく、生物をスケッチする実験や練習船で実際に海に出て生物の採集を行う実習など、現場での実践を通しつつ様々な授業で自分の好きな海洋生物について多くのことを学ぶことができました。しかし、専門科目で学ぶのは生物学だけではありません。工学、化学、物理学など自分が今までに学んでこなかった様々な学問領域の授業があり、多面的に「海」を理解していきます。それらの授業からたくさんの刺激を受ける中で、いつしか生物学以外の学問へも興味が広がっていきました。

現在、私は研究室で音を使って海洋を観測する機器の研究をしています。本学は、自分の知りたいことを突き詰めると同時に、自分の今まで知らないことへの魅力にも気づかせてくれる環境だと思います。

